

---

# 「攻めの予防医療」：人的資本を基盤に国力を最大化する国家戦略

---

古井祐司 医学博士 [yfurui-tky@ifi.u-tokyo.ac.jp](mailto:yfurui-tky@ifi.u-tokyo.ac.jp)  
東京大学 未来ビジョン研究センター 特任教授  
自治医科大学 客員教授

[本講に関連する主な委員]

内閣府 経済・財政一体改革推進委員会 社会保障ワーキング・グループ委員  
厚生労働省 第3期データヘルス計画に向けた方針見直しのための検討会座長  
経済産業省 健康経営推進検討会委員  
ISO TC314 Wellbeing (WG4) 国内委員会顧問  
日本政策投資銀行 健康経営格付アドバイザー

**起業** 30代  
300万人の働き盛り世代へ  
予防プログラムを提供



**研究** 20代  
過疎地の出前医療→予防医学へ転向  
「人生と地域社会に寄り添う予防医療の力」



## 「予防医療」

人の可能性を最大化し、未来社会を創造する

## 教育

義務教育によるリテラシー向上  
人材のストック化



40代  
**政策提言**

経済財政諮問会議専門委員に就任  
現場と政策をつなぐ思いを強く



内閣府 人事異動通知書	
(氏名)	(現官職)
古井 祐司	
(異動内容)	
経済財政諮問会議専門委員に任命する	
平成 27 年 8 月 10 日	
任命権者	内閣総理大臣 <b>安倍晋三</b>



「攻めの予防医療」で創る未来社会

- ・働き盛り世代の平均年齢上昇に伴う健康リスク増
- ・労働生産性向上の阻害
- ・高齢リスク層の蓄積による医療費構造の硬直化



**「やり方次第」で変えられる可能性が見えてきました。**

## **(1) 予防医療を社会標準に**

データヘルスの高度化による「予防医療モデル」構築

## **(2) 予防医療を産業化**

日本発「予防医療モデル」の国際展開

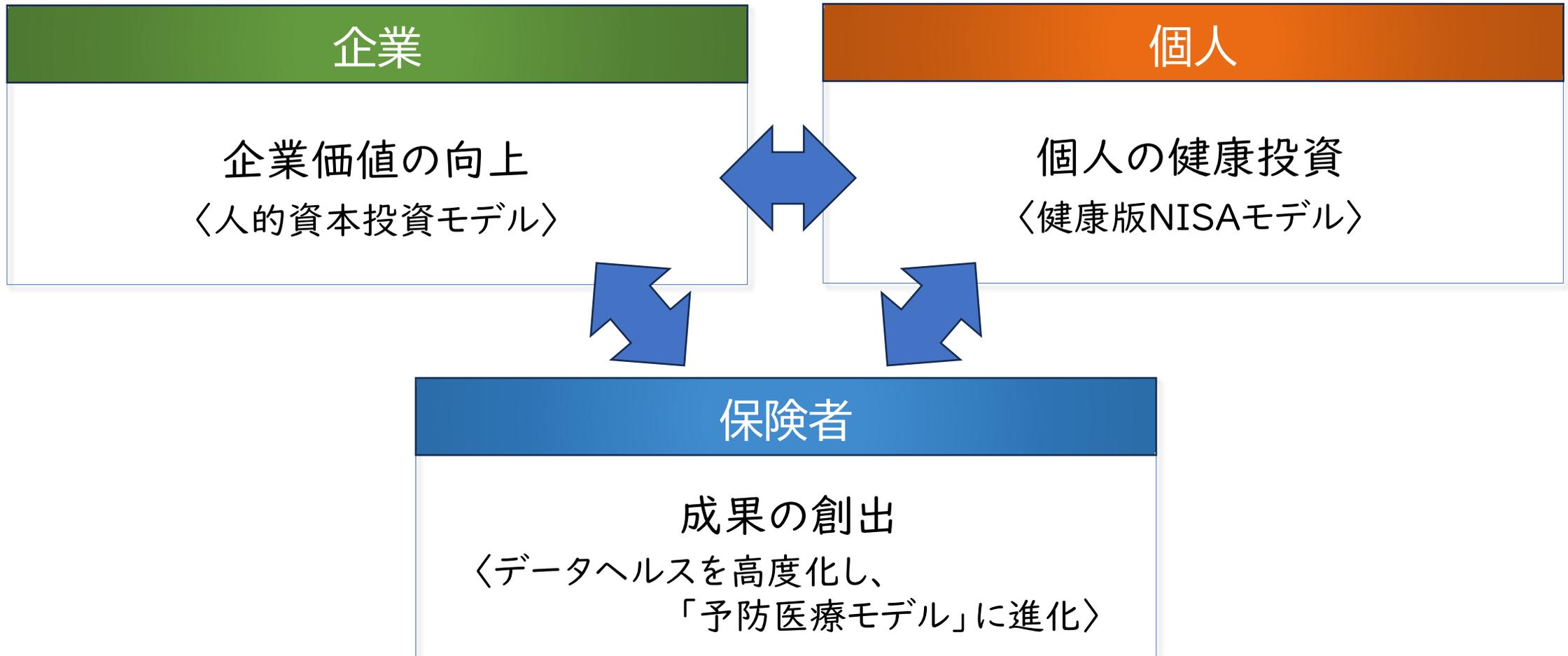


**「攻めの予防医療」を進めるインセンティブの設計へ**



## 2 「攻めの予防医療」を進めるためのインセンティブの設計思想

企業が本気でない／個人が動かない／保険者が評価できない → だから三層同時の設計



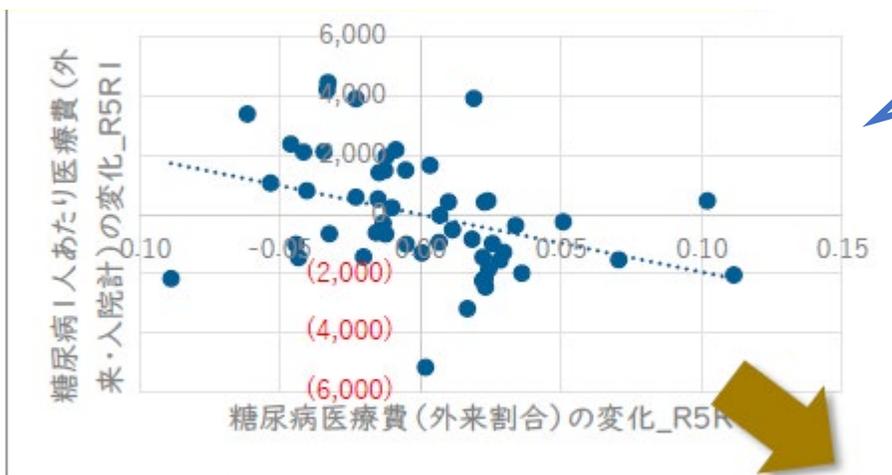
# データヘルスによる「リスク者減」、「外来受診増」を通じた医療費構造改善

保健事業の実施率

リスク保有者割合

外来医療費 > 入院医療費

5年間で外来医療費割合が上昇するほど  
1人当たり医療費は抑制



1人当たり医療費

予防医療は「医療費を減らす」政策ではなく  
「医療費の構造を変える」政策

※被保険者数、65歳以上被保険者割合で調整した重回帰分析による偏残差プロット  
東京大学・都道府県向け予防・健康づくり標準化研究成果より  
中尾. 2026シンポジウム「データヘルス計画で見た保健事業の進化」, 2026.3.6

内閣府「EBPMアクションプラン」で評価指標が標準化したことで  
科学的検証が実現(全国97自治体・5年間の分析結果)

データヘルスは、確かに成果が出ていましたが、  
**やり方次第で、成果に大きな差がありました！**



- **「予防医療モデル」の構築**

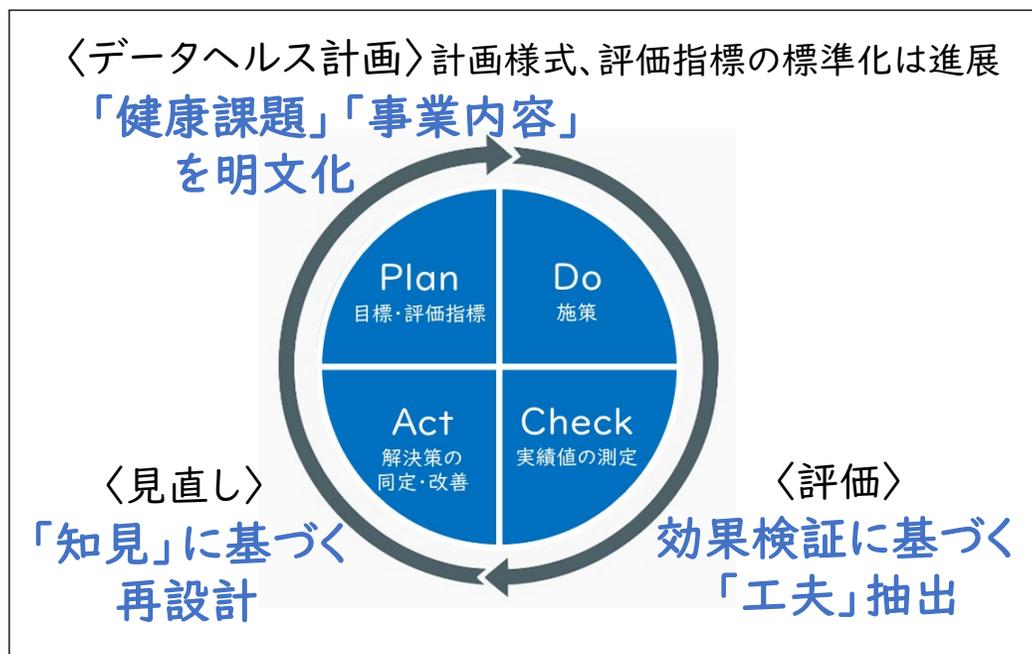
現場の膨大な暗黙知を再現可能な「知見」に体系化することが必要

- **保険者へのインセンティブ**

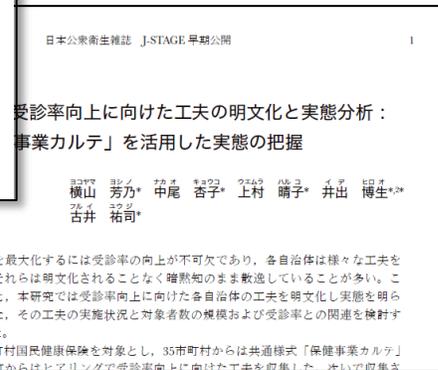
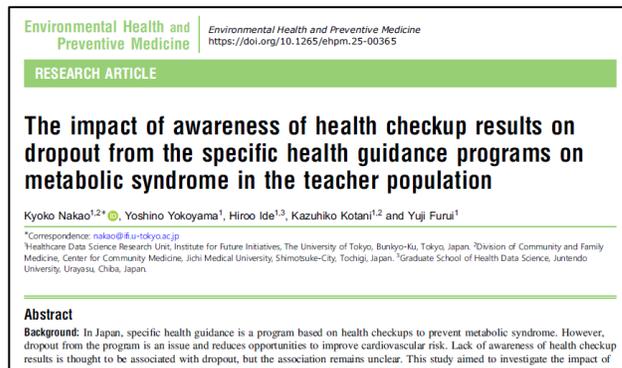
「予防医療モデル」での成果創出を促すための保険者への補助金、表彰制度

# 保険者 : 成果の創出

データヘルスを基盤とした「予防医療モデル」により、性差に対応した健康課題を解決



「知見」の体系化&論文化を開始



現場の膨大な暗黙知を再現可能な「知見」に体系化することが必要

健康課題の抽出⇒事業内容の明文化⇒共通の評価指標で実績の保険者間比較⇒効果の高い施策の抽出・共有⇒全国底上げ  
 この一連のプロセスをシステム化。AIによる分析・選択肢の提示が可能になり、データヘルスの高度化、現場の負担軽減が実現

インドネシアの構造： 予防医療(少) 外来受診(少) 医療費(多)

経済産業省 グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金  
ヘルスケアデータ分析を通じた医療費適正化及びビジネス高度化に関する実証事業



- ・データヘルスに実装科学を組み込むことで、評価結果が「再現可能な知的財産」に進化
- ・標準化・再現性の担保で他地域・他国への横展開が可能、世界の共通課題解決に貢献
- ・実装科学を通じて、介入効果データを体系化し、今後のAI診断やサービス開発に活用

データヘルスを活用した  
Science Diplomacyに向けて

2 日本ヘルスケアの国際展開(アジア輸出)の意義

単なる技術導入ではなく、UHC × データヘルス × 実装科学の“制度パッケージ輸出”  
アジア諸国は共通課題を有し、日本モデルは再現性を持つ。

- ・国民皆保険のカバレッジ拡大
- ・慢性疾患の急増
- ・医療費増大と財政圧迫

特に実装科学に基づき、以下を組み込むことで、輸出可能な知財パッケージに。

- ・標準化された評価モデル
- ・AI 予測モデルの知財化
- ・データ基盤

\*事業の実績データ、評価データを共通の様式で蓄積・比較できる国レベルの共通プラットフォーム。これにより、  
評価モデル、AI モデルが再現性をもって駆動する。

「予防医療モデル」が医療費適正化ニーズの大きいアジアで価値を発揮

**Science Diplomacy(科学外交)を通じて国際社会と共有**

## 企業: 企業価値の向上(1)

健康投資を人的資本投資に位置づけ、企業経営に統合

別紙

**人的資本可視化指針 (改訂版)**  
～投資家の期待に応えるための人的資本開示～

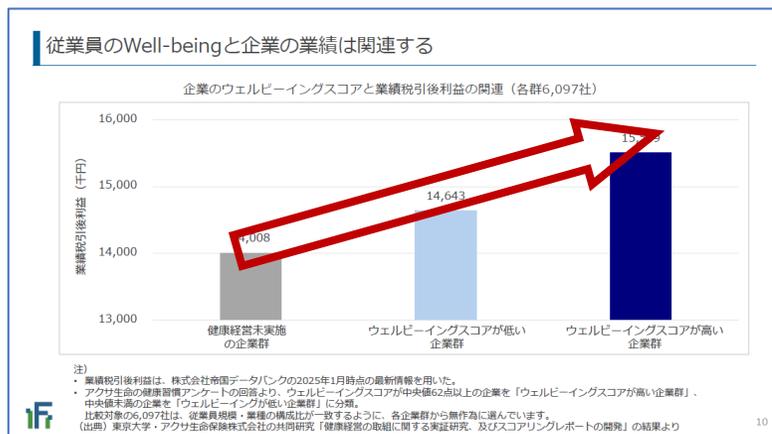
2026年1月  
内閣官房  
金融庁  
経済産業省

2022年「人的資本可視化指針」公表  
2023年有価証券報告書における人的資本開示義務化



企業価値向上に必要な人的資本投資へ

### 健康投資を「人的資本可視化指針」に位置付け

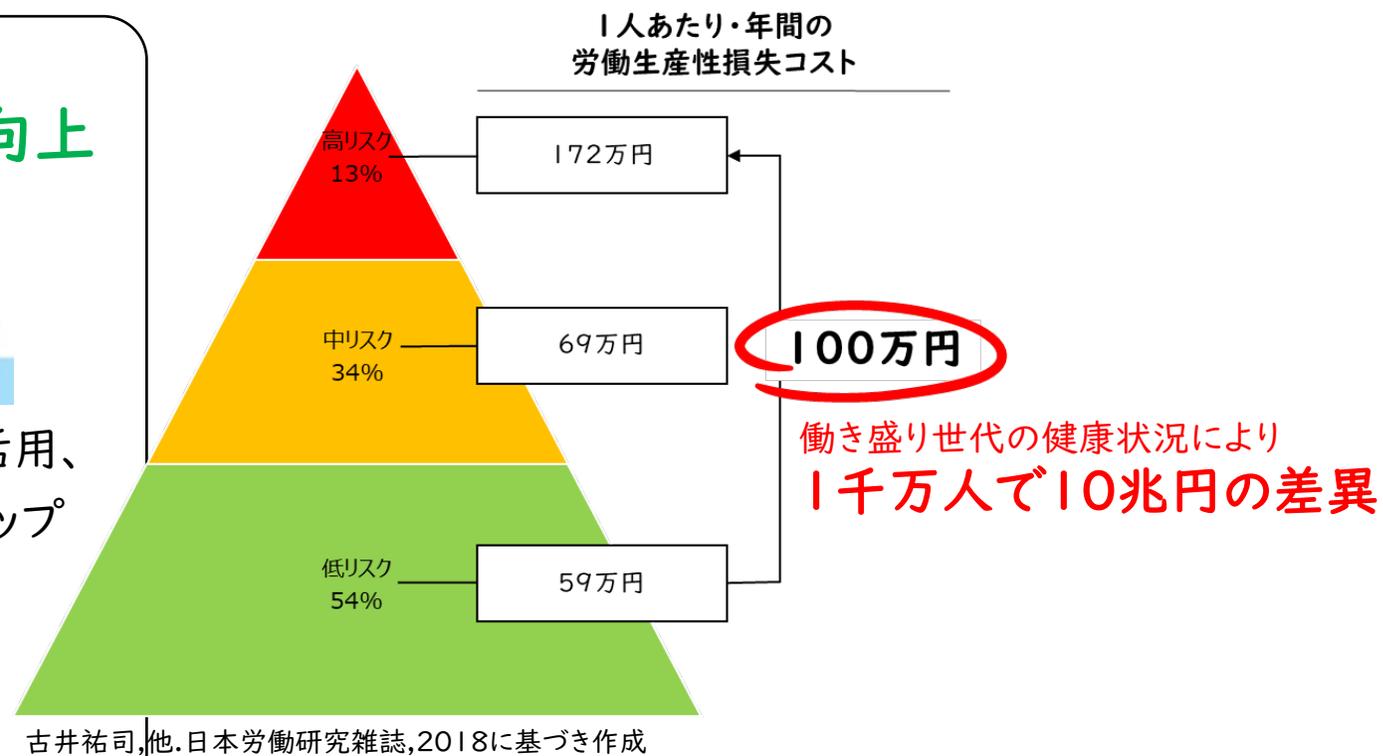


健康投資が企業価値向上につながる因果構造を科学的に検証  
「人的資本投資研究会」(主催:東京大学)

中小企業で先行して検証開始:  
健康経営が税引後利益や採用・離職防止にプラスに働く構造

## 企業：企業価値の向上(2)

保険者と連携して社員への健康投資(コラボヘルス)を進める。



## 保険者と共に健康投資する企業へのインセンティブ

中小企業については地域の支援機関や自治体等によるサポート体制が必要

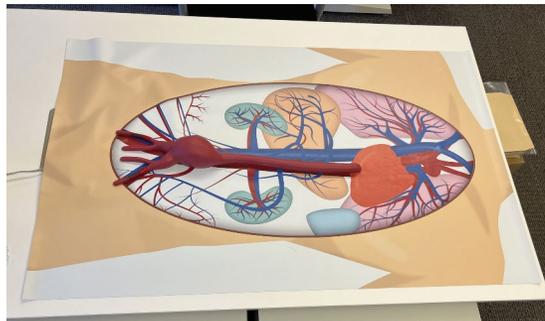
## 個人: 個人の健康投資(1)

子どもから予防医療への参加が社会標準となる仕組みづくり(学校教育)

データヘルス計画の標準化(骨太方針2020)」により全国の区市町村で地域の健康課題を教材とした授業が可能に

〈学習指導要領の保健:生活習慣病予防〉

授業後に500名中、91%の小学生・中学生が生活習慣が変容(子どもから話を聞いた家族も)。教員の負担軽減にも



内閣府:「未来志向型モデルプロジェクト2025」  
横展開すべき施策の候補

## 個人: 個人の健康投資(2)

大人も予防医療への参加が社会標準となる仕組みづくり

### 骨太方針 Student Session



〈高校生・大学生からの提言〉

### 「健康版NISAモデル」



-若年期からの健康行動を将来価値として蓄積するインセンティブ制度-

#### ▪健康版NISA口座

利用可能な予防医療サービスが見える化し、アクセス容易に行動にポイント付与し、健康価値を実感できる設計

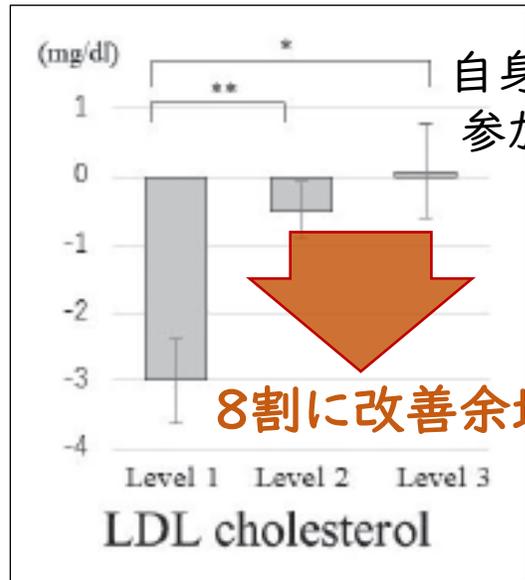
#### ▪健康保険の基礎講座(就職・転職時・節目年齢)

保険証の意義、予防医療サービスの活用法  
生涯の健康投資を主体的に考える機会を提供

\*既存ポイント制度との連携で財政負担を抑える設計や、特典は“健康価値の可視化”に重点を置き、公平性を担保するといった工夫が可能

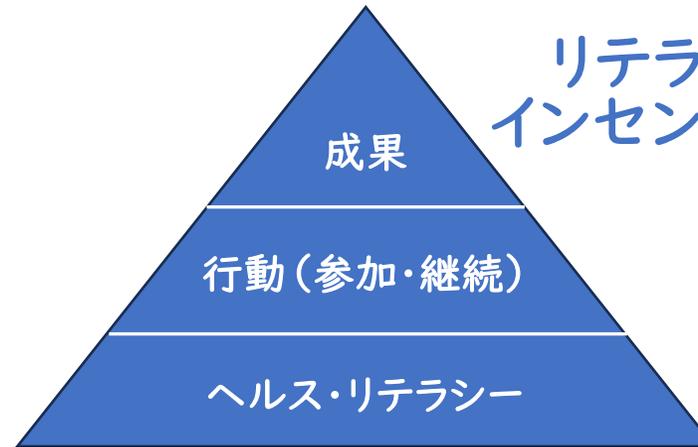
⇒ **リテラシーの向上が、行動と成果の基盤に**

## リテラシー・レベルがアウトカム改善に直結していた！



自身の健診結果の理解度が高いほど  
参加継続率が高く、健康指標が改善

8割に改善余地



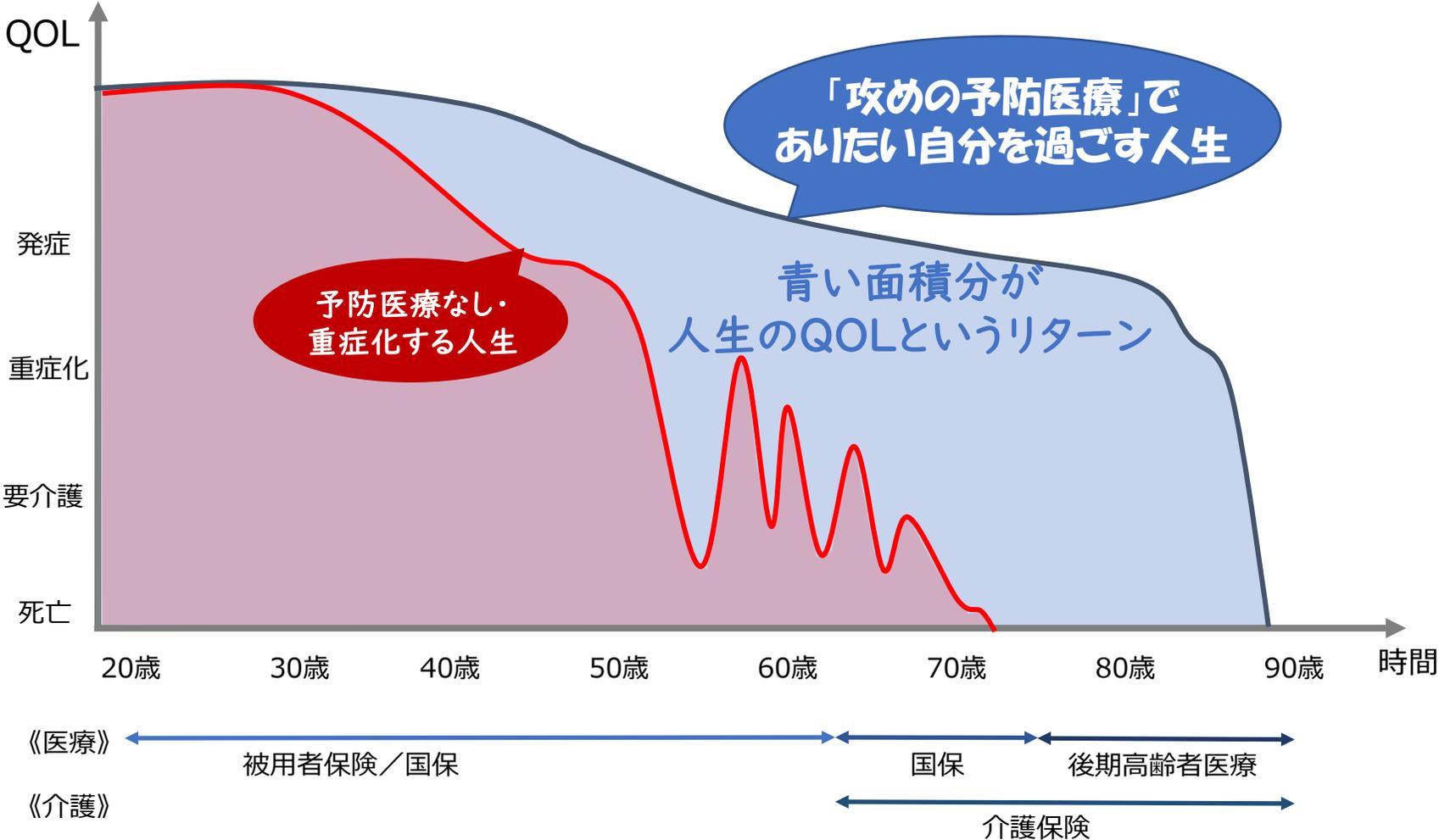
Nakao K, Furui Y, et al. Environmental Health and Preventive Medicine. In press.

例えば、これまで2~3割であった特定保健指導の改善率は..  
リテラシー・インセンティブで、圧倒的に変わる可能性



# まとめ

# 人生のQOLを最大化する「攻めの予防医療」



自治医科大学・永井良三学長, 改変

「攻めの予防医療」は、医療費適正化という財政視点にとどまる政策ではない。健康を人的資本の中核に捉え、国民のウェルビーイングと企業価値の向上を同時に実現する国家戦略となる。

三層（保険者・企業・個人）のインセンティブ設計を再構築することで、予防医療の利用を社会標準とし、世界最高水準の予防医療モデルを確立する。

このモデルを国際社会と共有し、世界の課題解決と産業創出を日本が牽引。

**健康を基盤とする人的資本国家の創造こそ、日本経済再生の鍵となる。  
「データヘルス」を国家の成長エンジンに。**